



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	22,556	1.4	1,027	23.5	971	27.2	677	6.2
2024年3月期第3四半期	22,248	5.3	831		763	960.1	638	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 677百万円 (3.2%) 2024年3月期第3四半期 656百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	293.53	
2024年3月期第3四半期	290.16	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	23,161	7,514	32.4
2024年3月期	22,232	6,836	30.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,514百万円 2024年3月期 6,836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,265	0.0	1,267	13.5	1,200	8.2	761	21.3	329.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,311,434 株	2024年3月期	2,311,434 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,126 株	2024年3月期	2,126 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,309,308 株	2024年3月期3Q	2,199,218 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益を背景に所得環境改善等の回復基調が見られたものの、不安定な国際情勢のなか円安や物価上昇が続いているうえ、今後の米国の政策動向による懸念も重なり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価高が沈静化する兆しが見えないなか消費者の節約意識は一層強まっており、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持し、さらなる品質向上のため、日々努力を続けております。コロナ禍を経て、そして長期化する物価高の影響で、消費者の意識・行動が大きく変化しているなか、お客様に選んでいただける価値ある店づくりのため、新商品開発や既存メニューのブラッシュアップ、店舗改装、DX推進等の取り組みを進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高225億56百万円（対前年同期比1.4%増）、営業利益10億27百万円（対前年同期比23.5%増）、経常利益9億71百万円（対前年同期比27.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億77百万円（対前年同期比6.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は165店舗であります。内訳は直営115店舗、暖簾13店舗、FC37店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、11月下旬のブラックフライデーにちなんだ「“黒毛”和牛200%盛り」クーポンの配信や、人気アニメ「キラキラ キャッチ! ティニピン」とのコラボフェア実施など、幅広い客層にアピールする施策を展開しました。また、定例化した「肉の日」の企画では、単品、盛り合わせ商品から食べ放題コースまで対象を広げてお得価格で提供し、客層拡大と来店促進を図りました。

「七輪房」においては、日本各地の銘柄和牛を期間限定で提供する企画を実施したほか、毎月の「肉の日キャンペーン」、焼肉食べ放題と飲み放題をパックにした宴会販促、年末年始限定の黒毛和牛大皿や定食の販売等、積極的に集客施策を展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は85億4百万円（対前年同期比5.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3億42百万円（対前年同期比152.7%増）となりました。

#### ② アークミール業態

アークミール業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は131店舗であります。内訳は直営129店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「マジどっさりきのこフェア」「ごほうびブロイレン×チーズフェア」の実施、しゃぶしゃぶどん亭の「たっぷりきのこ豆乳しゃぶしゃぶ」販売、フォルクスの「ビーフ&シーフードフェア」の実施等、季節感やプレミアム感を打ち出した多彩な企画によって来店促進を図りました。

また、DX推進の取り組みとして、しゃぶしゃぶどん亭の店舗への配膳ロボット導入を進め、お客様サービスの向上とオペレーション効率化を図っております。

以上の結果、アークミール業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は137億37百万円（対前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は9億61百万円（対前年同期比5.1%減）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結累計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

なお、安楽亭ベトナムでは、12月にホーチミン市内にて新店舗「PARC MALL 店」をオープンしました。安楽亭ベトナムが2017年にホーチミン市へ初出店して以来、ショッピングモールへの出店は初となります。

その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億13百万円（対前年同期比16.1%減）となり、セグメント損失（営業損失）は47万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ9億28百万円増加し、231億61百万円となりました。これは、現金及び預金の増加、商品及び製品の増加、原材料及び貯蔵品の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し、156億46百万円となりました。これは、長期借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加し、75億14百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,165,640	5,421,403
売掛金	1,469,292	1,430,899
商品及び製品	601,254	928,427
仕掛品	8,448	16,407
原材料及び貯蔵品	744,389	1,023,295
前払費用	321,065	334,498
未収消費税等	—	51,230
その他	42,110	83,646
貸倒引当金	△3,630	△2,730
流動資産合計	8,348,572	9,287,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,848,463	2,957,215
機械装置及び運搬具（純額）	42,141	51,154
工具、器具及び備品（純額）	533,014	588,973
土地	6,080,942	6,080,942
リース資産（純額）	73,112	115,550
建設仮勘定	24,934	5,003
有形固定資産合計	9,602,609	9,798,840
無形固定資産	530,560	563,497
投資その他の資産		
投資有価証券	182,826	183,070
長期貸付金	3,247	—
長期前払費用	69,424	56,175
繰延税金資産	471,668	332,642
敷金及び保証金	3,019,434	2,935,623
その他	27,500	27,433
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,750,788	3,511,632
固定資産合計	13,883,958	13,873,970
資産合計	22,232,531	23,161,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,926	1,357,841
短期借入金	1,734,000	1,834,000
1年内返済予定の長期借入金	1,574,815	1,431,634
リース債務	32,511	41,996
割賦未払金	303,807	324,137
未払金	356,025	339,699
設備関係未払金	49,642	40,696
未払費用	840,672	895,110
未払法人税等	317,844	72,697
未払消費税等	377,804	185,954
賞与引当金	155,300	68,340
資産除去債務	14,500	—
その他	463,251	439,834
流動負債合計	7,304,098	7,031,942
固定負債		
長期借入金	6,090,171	6,571,960
リース債務	117,892	152,052
長期割賦未払金	626,297	657,576
繰延税金負債	109,921	109,472
役員退職慰労引当金	155,397	165,128
退職給付に係る負債	413,266	411,241
資産除去債務	343,528	342,801
その他	235,472	204,747
固定負債合計	8,091,948	8,614,979
負債合計	15,396,047	15,646,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	3,080,174	1,166,680
利益剰余金	△84,475	2,506,858
自己株式	△12,635	△12,635
株主資本合計	6,773,524	7,451,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,819	47,552
為替換算調整勘定	14,284	14,994
退職給付に係る調整累計額	854	213
その他の包括利益累計額合計	62,959	62,760
純資産合計	6,836,483	7,514,126
負債純資産合計	22,232,531	23,161,048

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	22,248,336	22,556,360
売上原価	8,462,410	8,528,270
売上総利益	13,785,926	14,028,090
販売費及び一般管理費	12,954,443	13,001,011
営業利益	831,482	1,027,078
営業外収益		
受取利息	1,289	1,293
受取配当金	2,960	3,693
受取地代家賃	35,426	39,725
その他	34,531	25,651
営業外収益合計	74,207	70,363
営業外費用		
支払利息	94,054	102,431
支払手数料	37,932	3,329
賃貸収入原価	4,823	8,963
その他	5,357	11,302
営業外費用合計	142,167	126,026
経常利益	763,523	971,415
特別利益		
固定資産売却益	2,358	3,427
受取保険金	2,597	—
受取補償金	100,000	57,000
特別利益合計	104,955	60,427
特別損失		
固定資産売却損	—	128
固定資産除却損	6,373	26,777
減損損失	54,102	—
賃貸借契約解約損	23,625	14,601
特別損失合計	84,101	41,506
税金等調整前四半期純利益	784,377	990,336
法人税、住民税及び事業税	186,238	174,107
法人税等調整額	△39,983	138,388
法人税等合計	146,254	312,495
四半期純利益	638,123	677,840
親会社株主に帰属する四半期純利益	638,123	677,840

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	638,123	677,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,172	△267
為替換算調整勘定	2,594	709
退職給付に係る調整額	△176	△640
その他の包括利益合計	18,590	△198
四半期包括利益	656,713	677,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	656,713	677,642

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	9,040,578	12,833,720	374,037	22,248,336	22,248,336	—	22,248,336
外部顧客への 売上高	9,040,578	12,833,720	374,037	22,483,366	22,248,336	—	22,248,336
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,040,578	12,833,720	374,037	22,248,336	22,248,336	—	22,248,336
セグメント利益 又は損失(△)	135,448	1,013,424	△18,979	1,129,893	1,129,893	△298,410	831,482

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては10,865千円であります。

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては43,236千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
外部顧客への 売上高	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,504,589	13,737,925	313,845	22,556,360	22,556,360	—	22,556,360
セグメント利益 又は損失(△)	342,235	961,268	△470	1,303,033	1,303,033	△275,955	1,027,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	546,498千円	563,172千円
のれんの償却額	9,100千円	一千円